

健康都市やまと MANABI計画

(大和市生涯学習推進計画)

2019年度～2023年度

～豊かな心と感動が広がるまちをめざして～

大和市
大和市教育委員会

目次

1. 計画策定の背景.....	1
2. 計画の位置付け.....	2
3. 計画の期間.....	2
4. アンケート結果に見る市民意識.....	3
5. 基本目標.....	4
6. 計画の構成.....	5
7. 施策目標と個別目標.....	6
8. 進行管理と評価.....	18

1. 計画策定の背景

国では、第3期教育振興基本計画が、2018年（平成30年）6月に閣議決定され、今後の教育政策に関する基本的な方針の一つに掲げる、「生涯学び、活躍できる環境を整える」に沿って、「人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」、「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」などの教育施策の目標を掲げ、その実現に向け取り組んでいくことが示されました。

また、県では、基本理念に「未来を拓く・創る・生きる人間力あふれるかながわの人づくり」を掲げる、かながわ教育ビジョン（2007年度策定）を、2015年度に一部改定を行い、「生涯にわたる自分づくり」とそれを支援するための人づくりの3つの場「地域・家庭・学校」、さらに3つの場をつなぐ「教育環境づくり」を基本方針としました。

一方、大和市では、第8次大和市総合計画において基本目標の一つに掲げる、「豊かな心を育むまち」の実現に向け、2012年（平成24年）3月に大和市生涯学習推進計画を策定し、生涯学習施策を推進してきました。

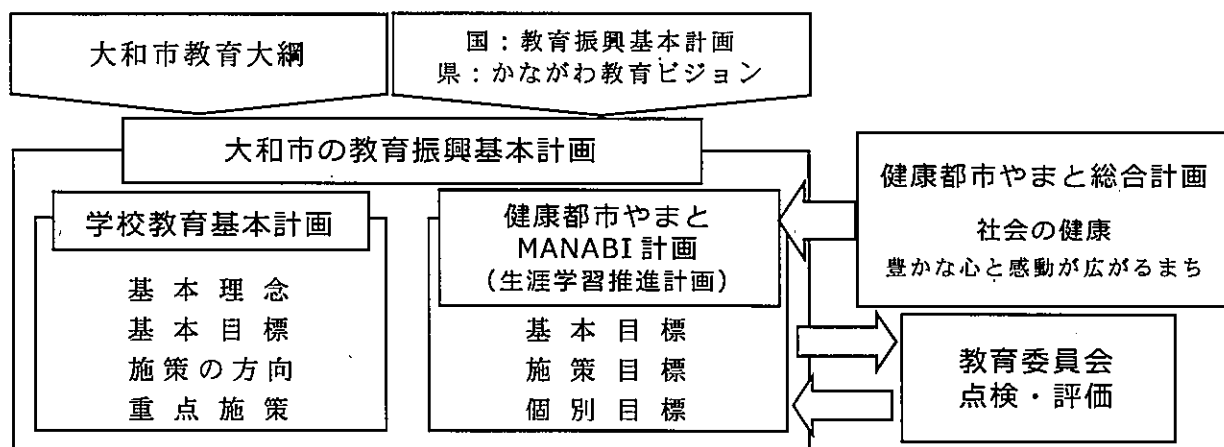
その中で、2016年（平成28年）11月に指定管理者が運営する文化複合施設「文化創造拠点シリウス」が、2018年（平成30年）4月に中央林間東急スクエア内に「中央林間図書館」が、同年8月にはアリーナを備えた「市民交流拠点ポラリス（北部文化・スポーツ・子育てセンター）」がそれぞれ開館し、学習環境の整備が進められました。

こうした中、2019年（平成31年）3月に終了する第8次大和市総合計画のあとを受けた、健康都市やまと総合計画においては、「健康都市 やまと」の実現を目指し、生涯学習を「社会の健康」の中に位置づけ、基本目標として「豊かな心と感動が広がるまち」を掲げています。

本計画においても、計画期間の終了を迎えることから、社会状況の変化等に対応した新たな計画を策定する必要があります。

2. 計画の位置付け

- ・本計画は、健康都市やまと総合計画の個別計画として、他の計画と整合を図りながら策定したものです。
- ・本計画は、大和市学校教育基本計画とともに、大和市における教育振興基本計画を担うものです。
- ・計画の策定にあたっては、大和市教育大綱の方針に沿うとともに、国の教育振興基本計画を踏まえ、県のかながわ教育ビジョンとの整合も図ることとします。
- ・本計画は、本市の生涯学習、社会教育の推進施策の方向を示す市・教育委員会の計画であり、教育委員会の自己点検・評価報告書の基礎となるものです。
- ・本計画に基づく施策や具体的な取組については、別に定める実施計画により取り組むこととします。



3. 計画の期間

本計画は、最上位計画である健康都市やまと総合計画の前期基本計画、及び大和市学校教育基本計画との整合を図り、計画期間を2019年度から2023年度までの5年間とします。

4. アンケート結果に見る市民意識

本計画の策定にあたり、生涯学習に関する市民意識の現状などを把握するため、2018年（平成30年）6月から7月にかけてアンケート調査を実施し、調査結果について次のとおりに整理しました。

【誰もがいつでも、どこでも学習できる場の提供】

- ・学習活動を行う（学習を始める）際の問題点としては、「時間」と「場所」を挙げた人が約半数にのぼり、自由意見でも、活動場所の確保に触れる意見が多くなっています。
- ・具体的には、「（団体を除く）一般利用者及び学生が自習しやすい場所」、「勉強できるスペース」、「シリアスの市民交流スペースのような場所」を求める意見などもありました。
- ・これらのことから、「誰もがいつでもどこでも学習できる場所」が求められていることがわかります。

【学習は人と人とのつながりや交流を生み出すツール】

- ・学習活動の形態では、約80%の人がサークルや団体で学習活動を行っており学習目的では、「楽しいから（44%）」、「もっと上手になりたいから（18%）」、「仲間づくりのため（17%）」となっています。
- ・また、学習活動の充実度では、90%以上の人々が「充実している」と回答し、理由として、多くの人々が、良い仲間・同じ興味を持った人たちと一緒に活動できていることを挙げています。
- ・これらのことから、学習を通じて人と人とのつながり、交流が生まれ、充実した学習活動を行っていることがわかります。

5. 基本目標

本計画は、健康都市やまと総合計画に掲げられた基本目標の一つである「豊かな心と感動が広がるまち」をめざすための計画とします。

～豊かな心と感動が広がるまちをめざして～

私たちは、創造や学び、スポーツによって、喜びや楽しさを感じ、また、芸術作品や地域固有の文化、読書による新たな発見、アスリートの懸命な姿に心を揺り動かされます。これらは、暮らしを彩るばかりでなく、時として、生きる力や明日への希望にもなります。生涯学習と読書、文化芸術やスポーツは、豊かな心を育み、日々の生活を充実したものとしていくために、欠かすことができないものであり、その振興を図っていく必要があります。

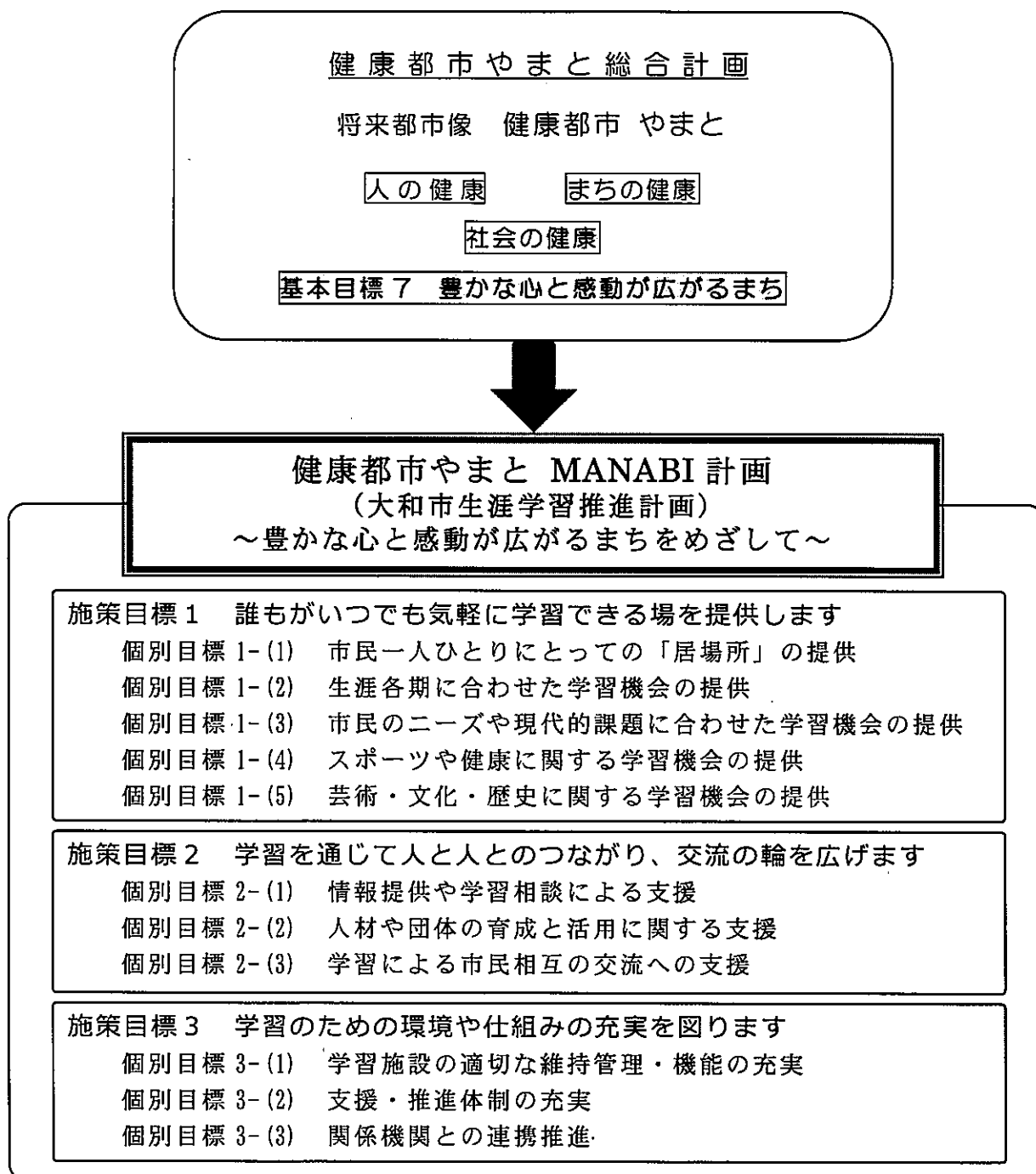
また、市民による多彩な活動を育て、広げていくことは、人と人との出会いを生み出し、さらなる市民の一体感、まちへの愛着意識を醸成します。そして、誰もが気軽に集える場や、活動に参加し交流できる機会の存在は、長寿社会を生きる私たちにとって、活気に満ちた毎日を過ごすうえでの貴重な「居場所」となるため、今後、その重要性が一層高まると考えます。

大和市は「健康都市」を実現するために、生涯学習や文化芸術、スポーツ活動のさらなる活発化に向け、あらゆる人が気軽に参加できる環境整備と、魅力の発信に取り組み、「豊かな心と感動が広がるまち」づくりを推進します。

(健康都市やまと総合計画抜粋)

6. 計画の構成

本計画では、基本目標「豊かな心と感動が広がるまちをめざして」の実現に向け、3つの施策目標と11の個別目標により、取り組んでいくものとします。



7. 施策目標と個別目標

施策目標1 誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します

市民の学びを推進するにあたっては、多世代にわたって誰もが自らの意思で学び始めるきっかけづくりが重要です。

そのために、誰でも気軽に学習できる場を提供することで、学習への興味や意欲を湧き立たせ、より多くの人々に自己の充実、生活の質的向上をもたらすことができます。

個別目標1-(1) 市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供

- ・人口減少社会の到来、人生100年とも言われる長寿社会の到来という新たな時代の中で、生涯学習においても、社会状況の変化に対応していく必要があります。
- ・特に、退職後、地域とのつながりが少ない方や同居家族のいない方などの「おひとり様」を対象に、学習機会や「居場所」の提供などを進め、これらの人たちが充実した毎日を過ごせるよう支援していくことが必要です。
- ・そこでは、人と人との新たな出会いや交流、学びへの興味や意欲の向上が期待されます。

【めざす姿】

市民の学びに関わる機会が増えている。

【施策の内容】

- 「健康都市大学」を開講します。
 - ・ 「大和市民大学」を大幅にリニューアルし、市や関係団体等が実施する学習機会を、共通の仕組みで一つにつなぐ「健康都市大学」を開講します。
 - ・ そこでは、市民が講師となり市民に教授する講座等を充実させるなど、学びを通じた、市民の居場所づくり、交流の場づくりを目指します。

- 市の施設を活用し、市民の「居場所」を提供します。
 - ・「文化創造拠点シリウス」を中心に、「市民交流拠点ポラリス」、各地区学習センターなどを市民の「居場所」としても活用し、学習に触れる機会を提供します。

- 誰でも気軽に利用できる学習スペースを提供します。
 - ・主に、学習センターの一部の会議室等を、誰でも自由に学習できるスペースとして開放し、市民が気軽に利用できる学習の場を提供します。
 - ・「シリウス」や「ポラリス」に設置している市民交流スペースをはじめとした、誰もが自由に利用できるスペースを提供します。

- 気軽に立ち寄ることのできる図書館で学習機会を提供します。
 - ・いつでも、だれでも、だれとでも利用できる図書館を「市民の居場所」として提供するとともに、一人ひとりの知的好奇心に応じた学習の場を提供します。

個別目標 1 - (2) 生涯各期に合わせた学習機会の提供

- ・人口減少社会の到来をはじめ、グローバル化や情報化の進展など、今日の社会状況は目まぐるしく変化しています。
- ・このような社会を生き抜き、充実した生涯を送ることができるよう、一人ひとりの生涯各期に合わせた学習機会の提供が必要です。

【めざす姿】

乳幼児から高齢者まで全ての世代にわたって、意欲的に楽しく学習する市民が増えている。

【施策の内容】

- 乳幼児期に対応する学習機会を提供します。
 - ・乳幼児の健全な心身と生活の基礎を養うとともに、保護者の子育てに関する悩みや不安などが軽減されるような学習機会を提供し、家庭教育支援を推進します。
 - ・保護者同士の交流の場や学習の場を設けて、乳幼児と保護者がともに学び、成長できるような機会を提供します。
 - ・様々な読書活動を通じて乳幼児と保護者がさらにふれあいの時間を持つきっかけとなるような機会を提供します。
- 青少年期に対応する学習機会を提供します。
 - ・「社会を生き抜く力」を養うために、生涯にわたって学び続ける意欲や、自らが考え、判断し、行動できる資質や能力を身につける学習機会を提供します。
 - ・青少年が、社会体験や自然体験など様々な体験により、自主性や協調性を養うことができる学習機会を提供します。
- 成人期に対応する学習機会を提供します。
 - ・家庭、地域、職場での生活を豊かにするため、趣味や教養、就労などに関する学習機会を提供します。
 - ・高齢期に向けて、新たな生きがいの発見や地域とのつながりを促す機会、また健康づくりのための学習機会を提供します。

● 高齢期に対応する学習機会を提供します。

- ・ 高齢化に伴う新たなライフスタイルに対応した、趣味や教養、健康に関する学習機会を提供します。
- ・ 学び直しや新たな学びに挑戦する意欲や生きがいを持つとともに、自己の知識や経験等を次世代の育成や地域での社会貢献に活かせるような学習機会を提供します。

個別目標 1 - (3) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供

- ・ 多様化する市民の学習ニーズに応えることが求められています。
- ・ 急変する社会状況や生活環境に対応した学習機会の提供も必要です。

【めざす姿】

自らの興味や社会状況に合った学習をすることにより、心や生活が充実した市民が増えている。

【施策の内容】

● 市民ニーズに応える学習機会を提供します。

- ・ 市民の学習ニーズを的確に把握し、それに対応した学習機会を提供します。
- ・ 受講者アンケートなどにより、変化する学習ニーズの把握に努めます。
- ・ 指定管理者のもつ民間ノウハウを活用し、充実した学習機会を提供します。

● 社会状況に対応した「現代的課題」に関する学習機会を提供します。

- ・ 地球環境の保全、国際理解、男女共同参画社会の実現、情報化社会への対応など、市民が社会生活を営む上で理解し、身につけておくことが望まれる課題についての学習機会を提供します。

個別目標 1-(4) スポーツや健康に関する学習機会の提供

- ・生涯を通じて健康で豊かな生活を送れるよう、日常的にスポーツに親しむことができる環境や機会を提供することが必要です。
- ・また、市民の健康に対する意識の高まりに応じた健康に関する学習機会の提供も求められます。

【めざす姿】

日常的にスポーツに親しみ、健康的に暮らす市民が増えている。

【施策の内容】

- **スポーツに親しむことができる学習機会を提供します。**
 - ・市民の自発的なスポーツ活動を奨励する教室やイベントなど、スポーツに関する様々な学習機会を提供します。
 - ・スポーツの大会や試合などの観戦の機会を提供し、市民のスポーツへの興味、関心を高め、健康への意識啓発を図ります。
 - ・スポーツを通じた健康づくり、地域の絆づくり等を推進させ、老若男女を問わず市民の誰もが生涯にわたって豊かな活動を送れるようにします。
- **健康維持・増進につながる学習機会を提供します。**
 - ・健やかに楽しく生きるための知識を深め、健康づくりにつながるような健康維持、増進に関する学習機会を提供します。
 - ・食事や運動だけでなく、市民ニーズに応じた健康に関する様々なテーマによる学習機会を提供します。

個別目標 1-(5) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供

- ・心豊かで潤いある生活を送るには、文化や芸術に親しむことができる機会の提供が大切です。
- ・地域の歴史や伝統、文化を知ることは、郷土意識の醸成にも寄与します。

【めざす姿】

芸術や文化に関する学習機会や、歴史や伝統が受け継がれていくための学習活動が展開され、文化芸術に親しむ市民が増えている。

【施策の内容】

- 芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
 - ・音楽や演劇の発表会、芸術鑑賞の機会、芸術文化に関する講座など、市民が芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
 - ・芸術活動や文化活動を行う学習団体との情報共有及び連携を進め、学習団体の活性化、文化芸術活動の推進を図ります。
- 歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します。
 - ・市民が伝統文化を知る機会の充実を図り、歴史や文化が後世に継承されていくための学習機会を提供します。
 - ・郷土資料や文化財を収集して保護し、調査研究を進めるとともに、展示や刊行物の発行といった形での学習機会も提供します。

施策目標 2 学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます

仲間や友人などと共に学ぶことによって、人と人とのつながりや交流が生まれます。学習活動や学習成果の発表を通じた“学びによるつながり”は、地域における交流や連帯感を深め、地域のコミュニティづくりにつながることが期待されます。

個別目標 2 - (1) 情報提供や学習相談による支援

- ・学習に関する情報提供は、これから学習活動を始めようとする人たちにとっては大きな助けとなります。
- ・誰もが気兼ねなく、学習活動に取り組むことができる支援も必要です。

【めざす姿】

学習に関する情報や相談体制が充実し、市民の学習活動が活発になる。

【施策の内容】

- 学習に関する情報を効果的に提供します。
 - ・必要としている人に必要とされる情報が届き、学習活動へとつながるよう、体系的かつ効果的な情報伝達をしていきます。
 - ・講座の内容や募集方法、施設の場所や利用方法、催事、人材及び団体情報など、学習に関する様々な情報を、各種情報媒体を活用し提供していきます。
 - ・関係施設に関する情報や、民間情報についても積極的に提供するなど、情報収集及び整理を行い、提供する機能を充実させます。
 - ・図書館において、幅広い分野の資料を収集するとともに、レファレンスサービスを充実することで、市民の読書活動や学習活動を支援します。

● 学習相談による充実した支援を行います。

- ・ 学習希望者の様々なニーズに対応できるよう、適切かつ的確な学習相談による支援を行います。
- ・ 学習団体に対し、学習発表等の企画立案やPR方法などの助言及び支援を行い、市民交流の促進を図ります。

個別目標 2 - (2) 人材や団体の育成と活用に関する支援

- ・ 個人や団体が学習により得た知識や経験を、地域や他の学習希望者と共有することは、社会に有益であるとともに、本人にとっても大変意義のあることです。
- ・ 生涯学習を推進していく上では、学習者の支援とともに、学習支援者となる人材や団体を育成し活用することが重要です。

【めざす姿】

学びを支える担い手づくりが進められ、市民同士で教え、学び合うシステムの構築が進んでいる。

【施策の内容】

● 学習者や学習支援者、学習団体への支援の充実を図ります。

- ・ 市民の学習活動が円滑に行われるよう学習者や学習支援者、学習団体を支援するとともに、学習成果を市民の生涯学習推進に活用します。
- ・ 学習者の高齢化などにより、活動の継続が困難となっている団体に対し、継続して団体活動が行えるよう相談や支援を進めます。
- ・ 子どもの読書活動に関わるボランティアの育成を図ります。

個別目標 2 - (3) 学習による市民相互の交流への支援

- ・学習による自己の充足だけでなく、学習活動を通じて人と人とのつながり、市民間の交流を促し、地域コミュニティの形成につなげていくことが必要です。

【めざす姿】

学習活動や学習成果の発表を通して、地域コミュニティが生まれている。

【施策の内容】

- 市民相互交流が生まれる学習活動や学習成果の発表を支援します。
 - ・日頃の学習活動、学習成果を発表できる場を設けるとともに、参加者への支援や内外への周知を積極的に行い、学習による市民相互交流や地域コミュニティの形成を促します。
- 市民の交流機会を創出する学習団体を支援します。
 - ・学習活動や学習成果の発表などにより、市民交流の創出を推進する学習団体を支援します。

施策目標 3 学習のための環境や仕組みの充実を図ります

施策目標 1・2 を達成するためには、学習のための環境づくりや仕組みづくりが欠かせません。

そのためには、施設の適切な維持管理や機能の充実、生涯学習を支援・推進する体制の充実、関係機関との連携推進を図る必要があります。

個別目標 3 - (1) 学習施設の適切な維持管理・機能の充実

- ・生涯学習を推進するためには、安全で快適な学習環境の提供とともに、それを維持していくことが大切です。
- ・市民の学習ニーズの多様化にも、対応していけるような施設の維持及び更新が必要です。

【めざす姿】

市民が快適な環境で学習している。

【施策の内容】

- 学習施設の適切な維持管理、機能の充実を図ります。
 - ・安全で快適な学習環境を提供するため、学習施設の適切な維持管理を行うとともに、様々なニーズに対応するための機能の充実を図ります。
 - ・学習センター全館を指定管理者による管理運営とし、民間のノウハウを活用した学習機会の提供や効率的な管理運営を図ります。

個別目標 3 - (2) 支援・推進体制の充実

- ・ 学習活動の充実を図る上で、行政各部門の専門性を活用することも、有効な手段となります。
- ・ また、行政の施策等を効果的かつ効率的に進めていくには、有識者の意見等を参考にしながら、有効な方策等を検討することも必要です。

【めざす姿】

行政の知識や経験が市民の学習活動に活かされているとともに、生涯学習を進めていく方策が検討されている。

【施策の内容】

- 行政の専門性を活用して、市民の学習活動を支援します。
 - ・ 行政の専門知識を市民の学習の場で活用し、市民の学習活動を支援します。
 - ・ より効果的かつ効率的な学習支援を図るため、行政各部門と緊密に連携するとともに市民への幅広い情報提供を行います。
- 学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行います。
 - ・ 学識経験者が参画する学びに関する各種会議を開催し、生涯学習推進に向けた方策の検討等を行います。
 - ・ 各種会議の審議等を通じて、行政の施策等を適正かつ効率的に実施します。

個別目標 3 - (3) 関係機関との連携推進

- ・市民の学びの裾野を広げていくなかでは、学びに関わりのある様々な組織や個人の協力を得ながら取り組んでいくことが必要です。

【めざす姿】

多くの組織や個人が行政と連携して、市民の学習活動に貢献している。

【施策の内容】

- 学校や市民の学習団体、民間教育機関、個人ボランティアなどとの連携を図ります。
 - ・学校との連携を図りながら、学校施設を地域の「学びの場」として開放します。
 - ・民間教育機関、市民の学習団体や個人ボランティアなどとの連携により、その教育力を生涯学習推進施策に活用します。
- 地域の各種団体等との連携を図るとともに、活動を支援します。
 - ・地域で活躍する各種団体や機関と連携し、学習のための環境づくりを進めるとともに、地域コミュニティの形成や活性化を図るため、団体等の活動を支援します。
 - ・地域スポーツを支えるスポーツ指導者の育成やスポーツ環境を充実させ、地域スポーツの振興と安全なスポーツ活動を推進します。

8. 進行管理と評価

- ・各施策目標の実現に向け、個別目標ごとに成果を計る指標を設定し、計画の進行管理を行います。
- ・毎年度、教育委員会の自己点検・評価報告書により計画の進捗状況を確認するとともに、必要に応じて見直しを行います。

成果を計る指標

施策目標1 誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します

個別目標1 - (1) 市民一人ひとりにとっての「居場所」の提供

●「健康都市大学」を開講します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
健康都市大学の受講者数 主管：図書・学び交流課	—	2,600人

【設定理由】学びを通じた市民の居場所、交流の場の提供の成果として、健康都市大学で新設する「市民でつくる健康学部」の受講者数を成果指標とし、目標値は一週間で50人、年間で2,600人とします。

●市の施設を活用し、市民の「居場所」を提供します

●誰でも気軽に利用できる学習スペースを提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
市民一人あたりの学習センター来館回数 主管：図書・学び交流課	4.74回	6.42回

【設定理由】市民の居場所、学習スペースの提供の成果として、市民一人あたりの学習センター来館回数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。

●気軽に立ち寄ることのできる図書館で学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
図書館の来館者数 主管：図書・学び交流課	3,053,751人	4,177,000人

【設定理由】図書館での学習機会の提供の成果として、図書館の来館者数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。

個別目標 1 - (2) 生涯各期に合わせた学習機会の提供

●乳幼児期に対応する学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
乳幼児期に対応する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	6,927人	7,646人

【設定理由】乳・幼児期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
図書館や保育園などでのおはなし会の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	3,103人	3,420人

【設定理由】乳・幼児期に対応する学習機会の提供の成果として、おはなし会の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は総合計画に掲げる値とします。

●青少年期に対応する学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
青少年期に対応する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	1,330人	1,466人

【設定理由】青少年期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
ユースクラブの活動日数 主管：こども・青少年課	90日	92日

【設定理由】青少年期の健全育成、能力開発に寄与する体験機会の提供の成果として、ユースクラブの年間活動日数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
こども体験事業参加者数 主管：こども・青少年課	29人	30人

【設定理由】青少年期に対応する体験機会の提供の成果として、こども体験事業の参加者数を成果指標とし、目標値は定員数とします。

● 成人期に対応する学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
成人期に対応する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	613人	674人

【設定理由】成人期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

● 高齢期に対応する学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
高齢期に対応する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	693人	762人

【設定理由】高齢期に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

個別目標1 - (3) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供

● 市民ニーズに応える学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
アンケートによる参加者の満足度 主管：図書・学び交流課	94%	94%

【設定理由】市民ニーズに応える学習機会の提供の成果として、アンケートによる参加者の満足度を成果指標とし、目標値は現状を維持する値とします。

● 社会状況に対応した「現代的課題」に関する学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
現代的課題に対応する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	1,615人	1,780人

【設定理由】現代的課題に対応する学習機会の提供の成果として、講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

個別目標 1 - (4) スポーツや健康に関する学習機会の提供

●スポーツに親しめる学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
スポーツ教室延べ参加者数 主管：スポーツ課	1,062人	1,196人

【設定理由】スポーツに親しめる学習機会の提供の成果として、スポーツ教室の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は「第2期大和市スポーツ推進計画」に掲げる値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
年1回以上直接会場でスポーツを観戦している人の割合 主管：スポーツ課	34.3%	37.3%

【設定理由】スポーツの大会や試合などの観戦機会の提供の成果として、年1回以上直接会場でスポーツを観戦している人の割合を成果指標とし、目標値は「第2期大和市スポーツ推進計画」に掲げる値とします。

●健康維持・増進につながる学習機会を提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
健康に関する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	125人	135人

【設定理由】健康維持・増進につながる学習機会の提供の成果として、健康に関する講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

個別目標 1 - (5) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供

●芸術や文化に親しむことができる学習機会を提供します。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
芸術・文化に関する講座等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	263人	288人

【設定理由】芸術や文化に親しむことができる学習機会の提供の成果として、芸術・文化に関する講座等の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

●歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
つる舞の里歴史資料館で開催する企画展 (3館合同含む)の来館者数 主管：文化振興課	1,740人	2,400人

【設定理由】地域の歴史や文化を知る学習機会の提供の成果として、つる舞歴史資料館で開催する講座の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は過去5年間の最大値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
歴史文化施設の利用者数 主管：文化振興課	54,443人	61,200人

【設定理由】地域の歴史や文化に触れる機会の提供の成果として、市内の歴史文化施設の利用者数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。

施策目標2 学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます

個別目標2 - (1) 情報提供や学習相談による支援

●生涯学習に関する情報を効果的に提供します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
市民一人あたりの図書館の貸出冊数 主管：図書・学び交流課	5.39冊	5.85冊

【設定理由】生涯学習に関する効果的な情報提供の成果として、市民一人あたりの図書館の貸出冊数を成果指標とし、目標値は総合計画で掲げる値とします。

●学習相談による充実した支援を行います

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学習に関する相談件数 主管：図書・学び交流課	3,382件	3,962件

【設定理由】学習相談による支援の成果として、学習に関する相談件数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
レファレンス受付件数 主管：図書・学び交流課	295件	302件

【設定理由】学習者のニーズに対応した支援の成果として、図書館でのレファレンス受付件数を成果目標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

個別目標 2 - (2) 人材や団体の育成と活用に関する支援

● 学習者や学習支援者、学習団体への支援の充実を図ります

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学習団体の登録数 主管：図書・学び交流課	1,761 団体	1,849 団体

【設定理由】学習団体等への支援の成果として、学習団体の登録数を成果指標とし、目標値は毎年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
「読み聞かせボランティア養成講座」等の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	127 人	300 人

【設定理由】人材育成、活用に関する支援の成果として、「読み聞かせボランティア養成講座」等の延べ参加者を成果目標とし、目標値は「こども読書わくわくプラン」の指標とします。

個別目標 2 - (3) 学習による市民相互の交流への支援

● 市民相互交流が生まれる学習活動や学習成果の発表を支援します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学習センターまつり参加団体数 主管：図書・学び交流課	170 団体	180 団体

【設定理由】学習活動や学習発表への支援の成果として、学習センターまつりの参加団体数を成果指標とし、目標値は現状から10団体上積みした180団体とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学習団体による講座等参加者数 主管：図書・学び交流課	3,218 人	3,550 人

【設定理由】学習活動への支援の成果として、学習団体による講座等参加者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

● 市民の交流機会を創出する学習団体を支援します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学習団体の活動支援件数 主管：図書・学び交流課	99 件	104 件

【設定理由】学習団体への支援による市民交流機会の創出の成果として、学習団体の活動支援件数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

施策目標 3 学習のための環境や仕組みの充実を図ります

個別目標 3 - (1) 学習施設の適切な維持管理・機能の充実

● 学習施設の適切な維持管理、機能の充実を図ります

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
アンケートによる利用者の満足度 主管：図書・学び交流課	—	80%

【設定理由】学習施設の適切な維持管理、機能の充実を計る成果として、アンケートによる利用者の満足度を成果指標とし、目標値は利用者の80%が満足している状態を目指します。

個別目標 3 - (2) 支援・推進体制の充実

● 行政の専門性を活用して、市民の学習活動を支援します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
「どこでも講座」の延べ参加者数 主管：図書・学び交流課	452人	630人

【設定理由】市民の学習の場で行政の専門知識が活用された成果として、「どこでも講座」の延べ参加者数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

● 学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行います

項目	指標		
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)	
審議した案件数	スポーツ推進審議会 主管：スポーツ課	6件	6件
	社会教育委員会議 主管：図書・学び交流課	8件	8件

【設定理由】学識経験者とともに学習活動を推進する方策の検討等を行った成果として、審議会等で審議された案件数を成果指標とし、目標値は現状を維持する値とします。

個別目標 3 - (3) 関係機関との連携推進

- 学校や市民の学習団体、民間教育機関、個人ボランティアなどとの連携を図ります

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
ボランティア講師利用件数 主管：図書・学び交流課	22 件	25 件

【設定理由】個人ボランティアとの連携の成果として、ボランティア講師利用件数を成果指標とし、目標値は過去3年の最高値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
特別教室開放利用者数 主管：図書・学び交流課	16,094 人	17,766 人

【設定理由】学校との連携した学習の場の提供の成果として、市内小中学校の特別教室開放利用者数を成果指標とし、目標値は年2%ずつ伸ばすことを目指します。

- 地域の各種団体等との連携を図るとともに、活動を支援します

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
学校施設のスポーツ開放利用件数 主管：スポーツ課	14,350 件	15,082 件

【設定理由】地域との連携による地域スポーツ活動の振興、活性化に寄与する、学校施設のスポーツ開放利用件数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

項目	指標	
	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)
青少年指導員の活動延べ日数 主管：こども・青少年課	430 日	450 日

【設定理由】青少年指導員の活動は、地域における青少年健全育成の活性化につながることから、青少年指導員の活動延べ日数を成果指標とし、目標値は年1%ずつ伸ばすことを目指した値とします。

健康都市やまと M A N A B I 計画

(大和市生涯学習推進計画)

2019年度～2023年度

発行年月	2019年(平成31年)3月
発行	大和市 大和市教育委員会
編集	大和市文化スポーツ部 図書・学び交流課
	大和市大和南一丁目8-1